

武雄市行政改革プランの主な成果〔令和5年度〕

本市では、市民とともに次世代へつながる健全なまちづくりを目指すため、「行政サービスと資産を見直す」、「行政サービスのデジタル化を図る」、「市民とつながる 地域を活かす」、「職員の働き方と職場を変える」、「将来へ持続できる経営を目指す」を改革の基本方針とし、令和3年3月に第4次武雄市行政改革プラン(令和3年度～令和7年度)を策定しました。

このプランに基づき、迅速に対応するコンパクトな組織体制、持続力ある健全な財政運営を目指し、行政改革の35の具体的な取組項目を定めて取り組んでいます。このたび令和5年度の進捗状況をまとめましたので、主な成果をお知らせします。

行政サービスと資産を見直す

民間力の活用

業務の民間委託による行政サービスの向上

- ◆放課後児童クラブ支援員の人材確保を円滑に行うため、人材確保の一部業務について、民間委託を行いました。
- ◆西川登小学校に加え、東川登小学校の水泳授業について、民間委託を行い、施設管理の経費削減等を図りました。
- ◆眉山キャンプ場の通年利用を可能とし、民間力を活用して、利用者の利便性の向上と効率的な管理運営を図りました。

公共施設マネジメントの推進

施設の適正な管理と個別施設計画に基づく更新

- ◆既存の2つの体育施設を集約した武雄市民体育館が、令和5年5月から供用開始しました。
- ◆武雄市新文化交流施設エリア整備について、基本設計や仮設公民館改修工事等を実施し、令和9年度開館に向け、整備を進めました。

行政サービスのデジタル化を図る

行政手続きのデジタル化

市民の利便性を向上させる行政サービスの実現

- ◆マイナンバーカード交付率は、前年度より9.5%増加し、82.5%(R5年度末)となりました。
- ◆市役所1階に多機能端末を設置し、窓口の利便性向上やコンビニ交付サービスの利用促進に努めました。(コンビニ交付利用率R4:14.25%、R5:28.39%)
- ◆令和5年10月23日から29の手続き(各種証明の発行、子育て関連手続き等)について、窓口に来なくても手続きができるオンライン申請サービスを開始しました。
- ◆デジタル技術を活用して、市民の利便性向上や行政事務の効率化を実現するため、令和5年10月に武雄市デジタルトランスフォーメーション(DX)推進計画を策定しました。

市民とつながる 地域を活かす

市民協働の推進

多様化する地域のニーズ・課題への対応

- ◆昨年度に引き続き、武雄高校と連携して、地域課題の解決策等を考え、実践してもらう高校生のみちづくり参画事業を実施しました。(防災カレンダーの作成等)
- ◆佐賀県と協働で「さが多文化共生推進アクション」を公表し、在住外国人への情報発信の強化、コミュニケーション支援等に取り組みました。

地域経済の活性化

雇用の確保と交流人口の増加

- ◆佐賀県と連携して企業誘致活動を行い、1社と進出協定を締結しました。
(R3：1社、R4：2社)
- ◆「宿泊施設等整備奨励制度」や「宿泊施設魅力向上支援事業補助金」を活用して、宿泊施設10施設へ支援を行い、宿泊施設の魅力向上を図りました。(R3：6施設、R4：3施設)
- ◆JAや佐賀県と連携して、みどり地区トレーニングファーム事業等に取り組み、4名が新規就農されました。(R3：3名、R4：5名)
- ◆キャッシュレス導入支援や観光看板等の多言語化を推進し、インバウンド対策を強化しました。

職員の働き方と職場を変える

働き方改革の推進

多様で柔軟な働き方の推進

- ◆テレワークを実施し、ライフスタイルに合わせた働き方を推進しました。
- ◆WEB会議を促進し、効率的な働き方を推進しました。

人材育成と活性化

働きやすい職場環境づくり

- ◆自主開催研修として、階層別にハラスメント、メンタルヘルス等の研修を実施し、職場環境の向上を図りました。

定員適正化の推進

組織改編と適正な人員配置による事業の推進

- ◆学校教育におけるICTやDXを推進するため、「新しい学校づくり課」を設置しました。
- ◆デジタル活用を加速させるため、「デジタル政策課」を設置しました。
- ◆市史編さんに着手するため、「市史編さん室」を設置しました。

将来へ持続できる経営を目指す

自主財源の確保

- | | |
|---------------------------------|----------|
| ◆まちづくり応援基金への積み立てを行いました。 | 1億4847万円 |
| ◆遊休資産等を売却しました。 | 1億8599万円 |
| ◆基金を運用することで利子収益を生み出しました。 | 3859万円 |
| ◆企業誘致の促進に伴い、固定資産税の税収が増加しました。 | 912万円 |
| ◆市民球場、市民体育館のネーミングライツによる収入を得ました。 | 700万円 |

公営企業・特別会計等の経営健全化

- | | | |
|-------|--------------------------------------|----------|
| ◆国保事業 | 県内税率統一に向け、市町村事務処理標準システムの導入作業を開始しました。 | |
| ◆競輪事業 | 収益から5年連続で一般会計への繰出 | 2億5000万円 |
| | 競輪施設整備基金への積立 | 3億円 |

取組項目以外の実施状況

- ◆「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」や「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、物価高騰の影響を受けた市民や事業者への支援を実施しました。
- ◆「武雄市 新・創造的復興プラン」のもと、ため池浚渫や雨水貯留タンク購入補助などを実施し、治水対策を推進しました。